

2020 年度活動助成 活動実績報告書

| | |
|-------|--------------------------|
| 団体名 | 兵庫県立大学 減災復興政策研究科 災害支援チーム |
| 活動テーマ | 坂町における内発的復興の取組み推進活動 |



兵庫県立大学減災復興政策研究科災害支援チームは、平成 30 年 7 月豪雨で被災した広島県安芸郡坂町において、災害発生直後から避難所運営支援や仮設住宅でのコミュニティ形成支援、まちづくりや被災者の悩み相談等の勉強会を実施するなど継続的に活動してきた。2020 年度、坂町では災害公営住宅が建設され、住民主体のコミュニティ形成を促進する必要があると考えた。また、町は道路や砂防ダムなどの改修が未完了のところもあり、住民は雨への恐怖や不安を口にしてきた。安心して暮らせるよう、地域防災力の向上と地域内の声かけ体制を確立するために防災マップの作成を目指した。

新型コロナウイルス感染防止のため活動が制限され、仮設住宅や災害公営住宅の集会所が利用できず、図上訓練等も実施できなかった。その中でも、住民への戸別訪問やまちあるき、住民組織の防災体制についての聞き取りなどを実施した。戸別訪問では、災害公営住宅に引っ越しをしてからのこと、自宅を再建しようと考えていることなどを教えていただいた。「よく来てくれた」、「また来てください」という声もかけていただいた。まちあるきでは災害当時の様子や、工事が未完了である道路や砂防ダムを案内していただいた。住民組織の防災体制についても教えていただいた。

活動の制限はあったものの、仮設住宅、災害公営住宅、再建された自宅を戸別訪問し、被災者との交流を続けることができている。住民にも喜んでいただき、今後も継続的に関わりたいと考えている。防災マップ作成にはいけなかったが、まちあるきや防災活動の聞き取りを通して、今後の防災マップ作りのヒントが得られた。そちらも継続的に関わり、地域防災力の向上と地域内の声かけ体制の確立を支援したいと考えている。